アイゼンハワーも心配した軍産複合体の危険

疲弊した経済下で

北朝鮮がきな臭い。国民経済が疲弊しているのにミサイル開発。又、金正男暗殺。その取り調べを免れる為にマレーシア人を人質にとる。国際法を無視した瀬戸際外交。

瀬戸際外交ストップを

瀬戸際外交を止めさせるには、北朝鮮を外交交渉の場に出させることが必要。ミサイル発射、暗殺について北朝鮮に主張させれば良い。どうやって国際世論を説得するのか、試させれば良い。

軍産複合体の危険

アイゼンハワー大統領は退任演説で「軍産複合体が民主主義を危険にさらしてはならない」と警鐘を鳴らした。

第二次大戦で肥大化した軍産複合体は終戦で平和産業に舵をとるべきだった。しかし、軍需産業は戦争を欲する方向に進んだ。

トンキン湾事件を起こしてベトナム戦争を始めたのも、大量破壊兵器があるという偽情報でイラク戦争を始めたのも、大きく見ると軍産複合体の意向。

トランプ政権は

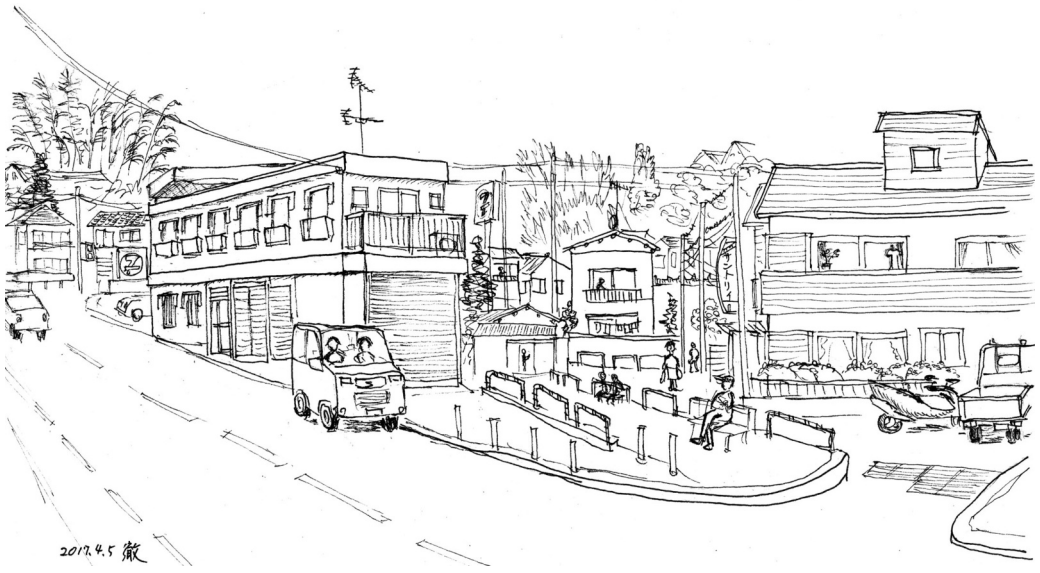
トランプ政権は北朝鮮にあらゆる選択肢を排除しないと云う。これは戦争もあり得るということ。経済で先が見えないトランプ政権には戦争で軍需拡大を考えているのではないか?

しかし、近隣国の韓国日本は堪ったものではない。

皆さんはどう思われますか?

旧六ツ川河道

横浜市南区六ツ川
二〇一七年四月



手前の道は、六ツ川から中里へ向かう道。五十年位前、ここを川が横切っていた。

川幅は三m位あった。ベンチがあるのはその川に蓋をした所。その先は家と家の間の狭い隙間を流れていた。

今は土管に変えられ道になっている。川は緩やかに流れ下る。そこを道にしたので、道も緩やか。それで、買物袋を下げて次から次へと人が通る。

横浜市のホームページから一九四六年(昭和21年)と一九七四年(昭和49年)の地図を見ることができる。

その地図では六ツ川の中央をこの川が流れていた。この谷に向かう谷がいくつもある。流れは描いてないが、雨が降れば流れた筈。そうした流れから「六ツ川」という地名になったと云う。